

👉 きいたかし ライフワークでもある高等教育無償化について政府に質しました

15年ぶりに本会議に登壇しました



3月14日、きいたかしのライフワークでもある、高等教育無償化・大学改革法案について、国民民主党無所属クラブを代表して、衆議院本会議で質問する機会をいただきました。

15年ぶり2回目になります。地元支援者を思い浮かべながら心を込めて質問させていただきました。

子どもは、親も、生まれる国も、地域も選べません。『経済状況や生まれた環境に左右されず、希望するすべての子どもたちが学ぶチャンスをつかめる日本にしたい』、との観点から質問しました。

政府案は無償化の対象がほんの一部に限られます。大学が独自に行っている授業料減免制度を後退させる可能性もあります。

きいたかしは、「所得制限のない高等教育の無償化を実現すべきでは?」、「授業料減免制度を中間所得層まで拡大すべきでは?」、「現行の貸与型奨学金の返済困難者を救済すべきでは?」と政府に提案。これからも実現に向けて取り組んでいきます。

👉 きいたかし 北九州市選出の衆議院議員として、国に改革を促していきます

北九州空港をもっと「使い倒す」ための条件整備を!

2月27日、衆議院予算委員会第8分科会で北九州空港について質疑に立ちました。

私から石井国土交通大臣や法務省・財務省・厚生労働省・農林水産省の各大臣政務官に申し上げた質問の趣旨は、北九州空港をもっと「使い倒す」ための条件整備に、「滑走路延伸」「関税・入管・防疫等の職員常駐化」「貨物荷役スペースの改善」「連絡橋以外の避難ルート確保、特に船活用!」などといった具体的な改善策を提案したいというものです。

地元北九州市からの国への要望や地元をまわって伺った様々な声を踏まえて質問させていただきました。

答弁は前向きな検討含めいろいろありましたが、引き続き地元の声を伝え、国に改善を促します。



衆議院議員 **きいたかし** (城井 崇) のプロフィール

地元北九州で東奔西走。1男2女のパパとしても子育て奮闘中。

1973年(昭和48年)北九州市門司区生まれ。田野浦小、早稲中、門司高、北九州予備校(2浪)、京都大学卒。松下政経塾、前原誠司代議士秘書等を経て、03年衆院選で初当選。09、17年衆院選で当選(現在3期目)。文部科学大臣政務官、衆院予算委理事等を歴任。現在、衆院文部科学委員会理事、国民民主党広報局長、国民民主党福岡県連代表。得意分野:教育、科学技術、安全保障、行政改革。好きな食べ物:ラーメン。